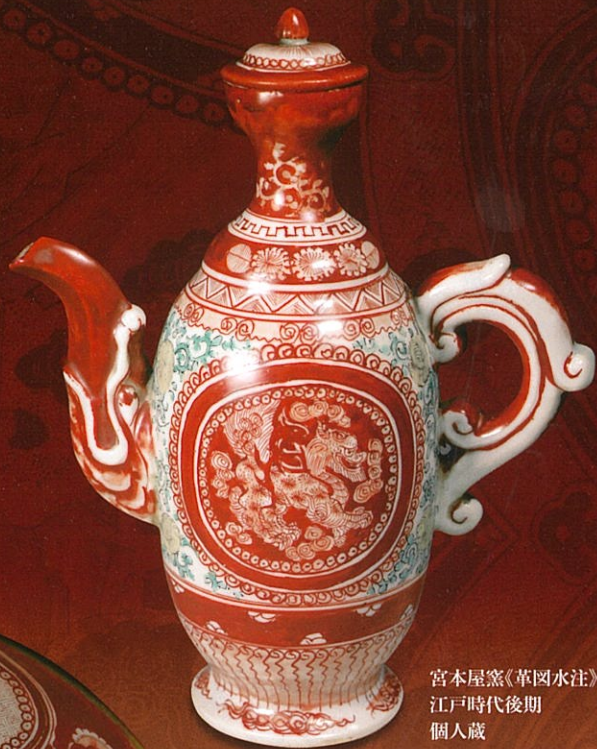




宮本屋窯《南柯之夢図六边形鉢》
江戸時代後期
個人蔵



宮本屋窯《革國水注》
江戸時代後期
個人蔵



宮本屋窯《許由図鉢鉢》
江戸時代後期
石川県九谷焼美術館蔵

2025
5/16(金) ▶ 6/29(日)

[開館時間] 10:00~18:00(入館は17:30まで)

[休館日] 月曜日

[会場] はつかいち美術ギャラリー 第1展示室、第2展示室、第3展示室

[観覧料] 一般400円、65歳以上200円

高校生以下、障がい者手帳等をお持ちの方と同伴者1名は無料

[主催] (公財) 廿日市市芸術文化振興事業団

九谷赤絵全国巡回展開催実行委員会、中国新聞社

[後援] 廿日市市、廿日市市教育委員会

はつかいち美術ギャラリー

〒738-0023 広島県廿日市市下平良一丁目11番1号

(廿日市市役所・はつかいち文化ホールウッドワンさくらびあに併設)

TEL 0829-20-0222 FAX 0829-32-7160

検索 [はつかいち美術ギャラリー](#)

九谷赤絵の 宮本屋窯と飯田屋八郎右衛門の世界 極致

極致 九谷赤絵の

宮本屋窯と
飯田屋八郎右衛門の
世界

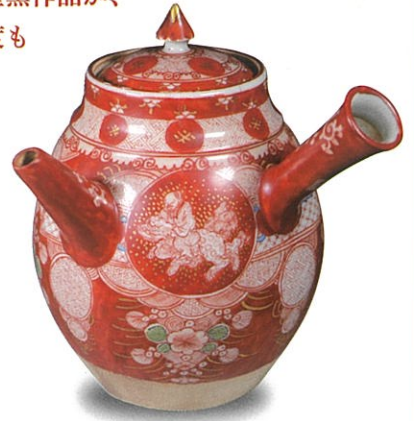
本展「九谷赤絵の極致—宮本屋窯と飯田屋八郎右衛門の世界—」は、長い九谷焼の歴史の中で、極めて重要な役割を果たした宮本屋窯(天保3年～安政末年)の作品を中心に紹介するものです。

宮本屋窯の主画工だった飯田屋八郎右衛門(1801～48)は、細かい描線で器面を埋め尽くす赤絵細描に優れ、赤絵具による細描とそこに金彩、赤以外の色絵具を少量用いた独自の作風を作り上げました。このことから、宮本屋窯は別名「飯田屋窯」、その作風は「飯田屋」や「八郎手」とも呼ばれています。

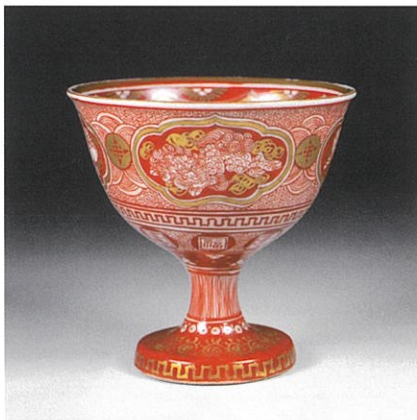
宮本屋窯の作品は、完成に多くの時間を要するため、現存数が非常に少なく、熱狂的なコレクターも存在します。そのような宮本屋窯作品が、全国的に一堂に展示・紹介される機会はこれまで一度もありませんでしたが、主画工の飯田屋八郎右衛門の生誕222年を迎え、石川県九谷焼美術館の協力のもと多くの方のご尽力により全国巡回展として廿日市市でも開催される運びとなりました。

本展は、これまでまとまって取り上げる機会の少なかった宮本屋窯の作品が一堂に会す貴重な機会です。

細密描写を実現した高い技術力、独自の意匠性による豊かな表現世界をお楽しみください。



宮本屋窯《丸抜獅子人物図芋頭形急須》
江戸時代後期 個人蔵



宮本屋窯《王子喬図馬上杯》
江戸時代後期 個人蔵



宮本屋窯《麒麟図円筒形水注》
江戸時代後期 個人蔵



宮本屋窯《雲龍図木瓜形蓋置》
江戸時代後期 個人蔵

関連イベントのご案内

九谷赤絵作家による絵付け実演見学&絵付け体験

- 5月18日(日) 講師=山本芳岳氏
- 6月8日(日) 講師=福島武山氏

◎絵付け実演見学(参加費無料) **定員各回15名**

①10:00～10:15 ②10:20～10:35

◎絵付け体験(材料代等含む参加費3,000円、当日お支払い) **定員15名**

11:00～12:30 絵付けした皿は約1か月後、焼成後にお渡し。

会場=ウッドワンさくらびあ 会議室

〈時間・会場は両日共通。いずれも要事前申込み、定員になり次第締め切り〉

お申し込み方法

お名前、連絡先、希望日、見学または体験(両方も可)を電話でお申込みください。
TEL 0829-20-0222(休館日:月曜、祝休日の場合は翌平日)



交通案内

- 広電宮島線「廿日市市役所前(平良)」駅から徒歩7分
- JR山陽本線「宮内串戸」駅から徒歩15分

はつかいち美術ギャラリー

〒738-0023 広島県廿日市市下平良一丁目11番1号
(廿日市市役所・はつかいち文化ホールウッドワンさくらびあに併設)
TEL 0829-20-0222 FAX 0829-32-7160

SNS配信中!
フォロー大募集!



今後の
展覧会のご案内

- 現代工芸美術中国会展 7月9日(水)～7月21日(月・祝)
- 第29回はつかいち平和展 7月27日(日)～8月17日(日)
- 美しい木工家具展 8月22日(金)～8月31日(日)